民間提案制度による
事業化第1弾が始まります!!

第1弾 ESP(エネルギーサービスプロバイダー)方式の導入

提案者 株式会社エネリンク・株式会社Bonds

電力調達の専門事業者であるエネリンクが電力供給事業者との価格交渉や企業調査を行い、安全・安心な電力供給事業者の最適な料金プランを市に提案する事業です。

2025年4月から新たな事業者による電力供給が始まります。

本方式導入により年間電気料金が約3,600万円削減されます。

民間提案制度とは？

民間事業者から社会や地域の課題解決につながる新たなアイディアやノウハウを活かした提案を求め、市と対話・議論を重ねながら事業化を目指す制度です。

2024年度から導入し、3つの主なテーマとフリーテーマで募集した結果、37提案をいただきました。このうち24提案を採択し、現在事業化に向けた協議を進めています。

3つのポイント

・まずは事前面談を
・採択・合意すれば提案者との契約を保証
・新たな市の財政負担がない提案が対象

2024年度の主なテーマ

・脱炭素・ごみの減量
・まちの活性化
・子ども・高齢者の見守り支援

記　　者　　提　　供　　資　　料
２０２５ 年（令 和 ７ 年）１ 月 ３１ 日
ESP 方式について：財務担当 竹野内・山本 078-918-5086（内線 2518）
民間提案制度について：産官学共創課 上野・井垣 078-918-5335（内線 2380）

ESP（エネルギーサービスプロバイダー）方式の導入について【民間提案制度】

令和６年度民間提案制度において条件付採用となった「環境配慮とコスト削減を実現する ESP（エネルギーサービスプロバイダー）方式よる電力最適調達」について、提案者（㈱エネリンク・㈱Bonds）と事業化に向けた詳細協議を実施し、提案時の効果額及びCO_2削減量を検証できましたので、令和７年４月より本提案による電力調達を開始します。

１．ESP 方式とは

電力調達の専門事業者である㈱エネリンクが小売電気事業者（旧一般電力事業者、新電力事業者）との価格交渉や企業調査を行い、安全・安心な電力供給事業者・最安値の料金プランを市に提案する事業です。

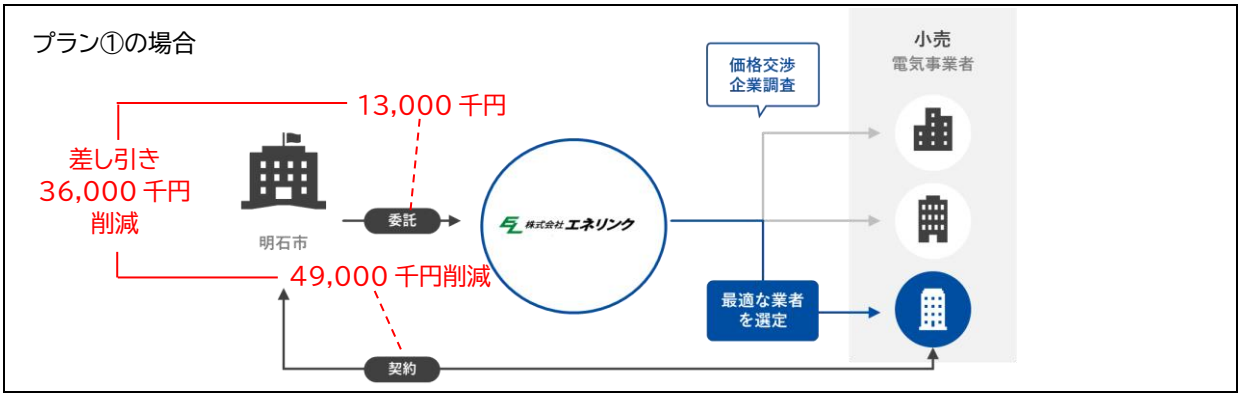
推奨した事業者に何らかのトラブルが生じた場合は、㈱エネリンクから新たな事業者が紹介されます。また、最終保障供給となった場合でも、㈱エネリンクが関西電力㈱の通常料金を上回った料金について、全額負担いたします。

２．提案内容

今回、㈱エネリンクが推奨する電力供給事業者は以下のとおりです。

	供給事業者	電気料金削減額	委託契約料	実質効果額	再エネ割合	CO_2排出係数
プラン① （バランス型）	㈱藤田商店	49,000（千円）	13,000（千円）	36,000（千円）	20%	0.000400 （t-CO_2/kWh）
プラン② （環境重視型）	㈱藤田商店	22,000（千円）	13,000（千円）	9,000（千円）	100%	0.000000 （t-CO_2/kWh）

※委託料は１施設あたり月額 11（千円）×12（ヶ月）×95 施設分で算定



３．検証結果

電力調達の担当課（財務担当）が、本提案を検証した結果、提案内容の数値に大きな誤差、その他懸案事項は見当たらなかったため、より効果額の高い「プラン①」で契約する予定です。（契約期間は１年間）